

2013年8月28日

報道関係各位

子どもの食と未来を考える調査

子どもの食事で気になること 1位“好き嫌い”、2位“テレビを見ながら”
中高生の母親の約2割が気になるのは“ケータイ・スマホを触りながら”
子どもの食事で気をつけていることは“三食きちんと”、“好き嫌いなく”が上位、“家族揃って”は4割
子どもの食事に関する情報源「ママ友」3割弱、幼児の母親では「子育て情報サイト」3割強

食材全般を選ぶ際の母親の気持ち 1位「美味しく食べてほしいな」、2位「成長のためには必要だな」
野菜を選ぶ際の母親の気持ちでは「成長のためには必要だな」が1位
野菜を買う際に気をつけている“新鮮度”と“価格”が9割以上、“無農薬・減農薬”が約6割

子どもが好きな野菜 1位は「枝豆」、幼児では「ニンジン」が1位に
子どもが嫌いな野菜 1位「セロリ」、2位「ピーマン」、3位「グリーンピース」
子どもが野菜を食べるように工夫していること 最多は「子どもが好きな味付けにする」

今年の夏 子どもが“野菜不足”8割、自身が“野菜不足”は7割半
親子揃って“野菜不足”が約7割、親子揃って“充足”は1割半にとどまる

「子どもが事故や犯罪に巻き込まれないか心配」母親の74%
小学生の母親の44%が「子どもが今後勉強で落ちこぼれないか心配」
中学生の母親の46%が「子どもが将来就職できるか心配」
北海道・東北エリアでは「東北復興支援は、子どもの未来のために必要」6割
子どもの将来のために“家計を見直したい”母親が半数以上
“食生活を見直したい”子どもに野菜不足を感じている母親では感じていない母親の2倍

子どもの未来の為にしていること 1位“きちんと叱る”、2位“きちんと褒める”
小学生の母親では“家事などのお手伝いをさせる”5割半、“塾など習い事に通わせる”3割

パルシステム生活協同組合連合会 (<http://www.pal.or.jp>) (本社:東京都新宿区、理事長:山本 伸司)は、「子どもの食と未来を考える調査」をモバイルリサーチ(携帯電話によるインターネットリサーチ)により、2013年7月26日～7月29日の4日間において実施し、1,000名(調査対象者:20歳～49歳で幼児から高校生までの子どもの母親)の有効サンプルを集計いたしました。(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)

調査結果

- ◆ 子どもの食事で気になること 1位“好き嫌い”、2位“テレビを見ながら”
中高生の母親の約2割が気になるのは“ケータイ・スマホを触りながら”
- ◆ 子どもの食事で気をつけていることは“三食きちんと”、“好き嫌いなく”が上位、“家族揃って”は4割
- ◆ 子どもの食事に関する情報源「ママ友」3割弱、幼児の母親では「子育て情報サイト」3割強

夏休みももうすぐ終わろうとしています、夏休み中の子どもたちの食生活は乱れがちと言われており、子どもたちの食生活について、改めて考えさせられたお母さんたちも多いのではないのでしょうか。

そこで、幼児から高校生までの子どもがいる20歳～49歳の母親1,000名(全回答者)に、子ども(複数いる場合は末子について、以下同様)の食生活について、気になっていることや気をつけていることを聞きました。

まず、日頃の子どもの食事について気になっていることを聞いたところ、「好き嫌いがある」(49.5%)が約半数で最も多く、「テレビを見ながら食べる」(41.5%)が次に続きました。子どもの成長段階によって母親が気になる内容は異なり、幼児の母親では「遊び食いをする」(51.0%)、小学生の母親では「箸の持ち方が正しくない」(30.0%)や「マナーが悪い(肘をつく・口にもものを入れたまま話すなど)」(28.3%)、中学生の母親と高校生の母親では「ケータイ・スマホを触りながら食べる」(それぞれ17.7%、23.4%)が、それぞれ他の段階の母親より高い割合になりました。

次に、日頃の子どもの食事で気をつけていることを聞いたところ、「三食きちんと食べさせるようにしている」(57.6%)が最も多く、次いで「好き嫌いなく食べさせるようにしている」(51.2%)、「多くの品目を食べさせるようにしている」(44.4%)、「栄養に偏りがないようにしている」(44.1%)、「楽しく食事をするようにしている」(41.6%)、「家族揃って食事をするようにしている」(40.8%)が続きました。回数や品目数、偏食、雰囲気など、母親が食事で気をつけていることは多岐にわたることがわかりました。

また、子どもの食事に関する情報を何から得ているか聞いたところ、「自分や配偶者の親」(41.0%)が最も多くなり、「テレビ番組」(30.4%)、「ママ友」(27.1%)、「料理雑誌」(20.8%)、「子育て情報サイト」(19.8%)が続きました。「子育て情報サイト」や「育児・子育て雑誌」は、幼児の母親が他の成長段階の母親より高くなり、それぞれ31.8%、23.5%となりました。

◆ **食材全般を選ぶ際の母親の気持ち 1位「美味しく食べてほしいな」、2位「成長のためには必要だな」**

◆ **野菜を選ぶ際の母親の気持ちでは「成長のためには必要だな」が1位**

◆ **野菜を買う際に気をつけている “新鮮度”と“価格”が9割以上、“無農薬・減農薬”が約6割**

子どもの食生活に関する質問からは、母親が子どもの好き嫌いと同じ向き合っている様子が窺えましたが、その母親たちは食材を選ぶ際にどのような気持ちで選んでいるのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、食材を選ぶ際の気持ちについて聞きました。

まず、食材全般を選ぶ際にどのような気持ちになったことがあるか聞いたところ、最も多かったのは「美味しく食べてほしいな」(77.2%)で、「成長のためには必要だな」(69.9%)、「これは(子どもが)好きだったな」(63.6%)、「残さず食べてくれるかな」(61.0%)、「美味しいものを作ってあげよう」(60.3%)が6割台で続きました。“子どもに美味しい物や好きなものを食べさせたい”、“しっかり成長して欲しい”、“残さず食べて欲しい”といった母の想いが感じ取れる結果となりました。

次に、野菜を選ぶ際に抱いたことがある気持ちを聞いたところ、「成長のためには必要だな」(59.7%)が最も多く、ほぼ同率で「美味しく食べてほしいな」(59.3%)が並び、「残さず食べてくれるかな」(50.7%)、「美味しいものを作ってあげよう」(43.4%)、「これは(子どもが)好きだったな」(37.2%)が続きました。

野菜の場合、食材全般に比べ「成長のためには必要だな」(食材全般2位→野菜1位、以下同順)や「残さず食べてくれるかな」(4位→3位)、「(子どもが)嫌いだけど頑張って食べて欲しいな」(8位→7位)など、子どもの好みよりも健康や成長を優先させた回答では順位が上がる一方、「これは(子どもが)好きだったな」(3位→5位)や「喜ぶだろうな」(6位→8位)など子どもの気持ちを優先した回答では順位が下がりました。

また、野菜を買う際に何に気をつけているかという質問では、『気をつけている』（「非常に気をつけている」と「やや気をつけている」の合計）割合は、【新鮮度】96.9%と【価格】94.6%が 9 割以上となり、【産地】は 72.5%、【色・形】は 67.5%、【無農薬・減農薬】は 57.1%となりました。

◆ 子どもが好きな野菜 1位は「枝豆」、幼児では「ニンジン」が1位に

◆ 子どもが嫌いな野菜 1位「セロリ」、2位「ピーマン」、3位「グリーンピース」

◆ 子どもが野菜を食べるように工夫していること 最多は「子どもが好きな味付けにする」

野菜を選ぶ際に、「これは(子どもが)好きだったな」や「(子どもが)嫌いだけど頑張って食べて欲しいな」という気持ちになったことがある母親がそれぞれ3人に1人の割合となりましたが、子どもはどんな野菜が好きで、どんな野菜が嫌いなのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、子どもの好きな野菜と嫌いな野菜を聞きました。

まず、子どもが好きな野菜を聞いたところ、1位は「枝豆」(62.2%)で、2位には「ジャガイモ」と「トウモロコシ」(それぞれ61.4%)が並びました。

子どもの成長段階によって順位は大きく変わり、各成長段階の1位は、幼児では「ニンジン」(66.0%)、小学生では「トウモロコシ」(68.3%)、中学生では「枝豆」(65.4%)、高校生では「キュウリ」(63.1%)となりました。

次に、子どもが嫌いな野菜を聞いたところ、1位は「セロリ」(40.6%)、2位は「ピーマン」(25.7%)、3位は「グリーンピース」(24.0%)となりました。

子どもの成長段階別にみると、全ての成長段階で1位が「セロリ」となっており、特に小学生以上では2位と20ポイント前後の差がつかしました。

子どもの成長のために嫌いな野菜も食べてもらおうと工夫している母親は多いのではないのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、子どもが野菜を食べるように工夫していることを聞いたところ、「子どもが好きな味付けにする」(53.7%)が最も多く、次いで「できるだけ細かく刻む」(45.9%)、「子どもが好きなものと一緒に出す」(43.3%)が4割台で続きました。また、「子どもに料理を手伝ってもらう」(20.9%)や「子どもと一緒に野菜を育てる」(10.0%)、「子どもに野菜を選んでもらう」(9.6%)など、子どもに体験させるといった回答もみられ、直接かかわることで野菜への興味をもたせるように工夫している様子が窺えました。

◆ 今年の夏 子どもが“野菜不足”8割、自身が“野菜不足”は7割半

◆ 親子揃って“野菜不足”が約7割、親子揃って“充足”は1割半にとどまる

それでは、子どもたちは野菜を十分に摂取できているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、今年の夏の子どもの野菜摂取状況を聞きました。

まず、子どもの野菜摂取状況をみると、「不足していると思う」は30.3%、「たぶん不足していると思う」が48.7%となり、それらを合わせた『不足していると思う(計)』は79.0%で、自分の子どもが野菜不足だと感じている母親が8割近くになることが明らかになりました。

次に、母親自身の野菜摂取状況をみると、「不足していると思う」32.2%、「たぶん不足していると思う」42.2%で『不足していると思う(計)』は74.4%となり、自分に対して野菜不足を感じている母親も大半を占めることがわかりました。

さらに、これらの母親自身と子どもの野菜摂取状況をもとに4つのグループに分類すると、「親子揃って不足しているグループ」が全体の68.8%と7割近くを占め、「親だけが不足しているグループ」は5.6%、「子どもだけが不足しているグループ」は10.2%となり、「親子揃って充足しているグループ」は15.4%と全体の1割半にとどまりました。

- ◆ 「子どもが事故や犯罪に巻き込まれないか心配」母親の 74%
- ◆ 小学生の母親の 44%が「子どもが今後勉強で落ちこぼれないか心配」
- ◆ 中学生の母親の 46%が「子どもが将来就職できるか心配」
- ◆ 北海道・東北エリアでは「東北復興支援は、子どもの未来のために必要」6 割
- ◆ 子どもの将来のために“家計を見直したい”母親が半数以上
- ◆ “食生活を見直したい” 子どもに野菜不足を感じている母親では感じていない母親の 2 倍
- ◆ 子どもの未来の為にしていること 1 位“きちんと叱る”、2 位“きちんと褒める”
- ◆ 小学生の母親では“家事などのお手伝いをさせる”5 割半、“塾など習い事に通わせる”3 割

食事には、“成長のため”や“おいしく”、“嫌いだけれど頑張る”など様々な母親のやさしさが込められていることが窺い知れましたが、食生活以外にも母親が子どもに対して考えていることや感じていることは多々あるのではないのでしょうか。

全回答者(1,000 名)に、子どもに対する心配や子どもの将来についてどのような考えや気持ちをもっているか聞いたところ、「子どもが今後事故や犯罪に巻き込まれないか心配」(73.5%)や「子どもがずっと健康でいられるか心配」(72.3%)といった子どもの事故・犯罪や健康に対する心配では 7 割以上となり、「日本の社会保障見直しは、子どもの未来のために必要」(66.0%)、「日本の財政再建は、子どもの未来のために必要」(59.4%)、「子どもの将来のために、家計を見直したい」(53.5%)、「日本の農業再生は、子どもの未来のために必要」(53.4%)が続きました。

子どもの成長段階別にみると、「子どもが将来就職できるか心配」は、就職する年齢が一番近い高校生の母親が 47.7%で最も高くなりましたが、中学生以下の母親でも低くはなく、中学生の母親では 46.2%と高校生の母親と同レベルとなり、小学生の母親は 38.3%、幼児の母親は 22.4%でした。また、「子どもが今後勉強で落ちこぼれないか心配」という勉強に対する心配は、小学生の母親が最も高くなり 43.7%となりました。

エリア別や子どもの野菜摂取状況別でも特徴がみられ、「東北復興支援は、子どもの未来のために必要」は全体では 48.1%でしたが、北海道・東北エリアの母親では 60.4%と他のエリアの母親より高く、「子どもの将来のために、食生活を見直したい」は子どもに対して野菜不足を感じている母親では 42.5%と、そうではない母親(21.0%)の 2 倍の割合となりました。

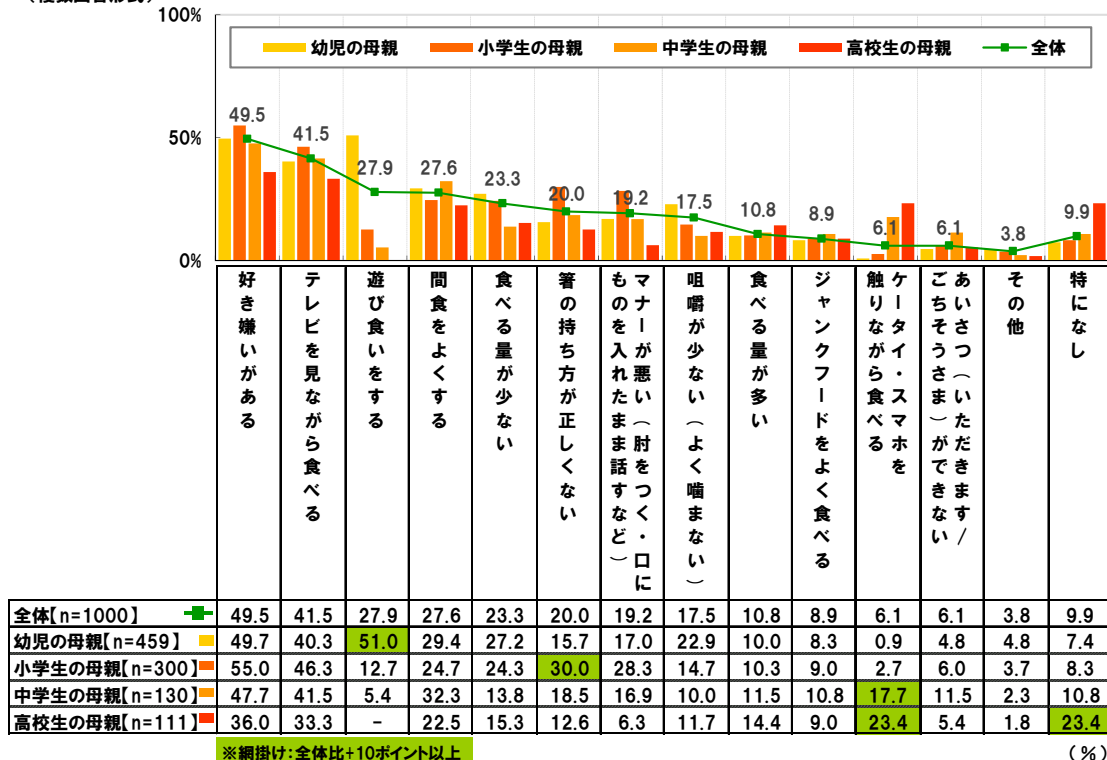
それでは、子どもの未来の為に、母親は何を行っているのでしょうか。

全回答者(1,000 名)に聞いたところ、「悪いことをした時は、きちんと叱る」82.1%が最も高く、次いで「良いことをした時は、きちんと褒める」76.2%、「常識・マナー・礼儀を教える」61.8%、「子どもと過ごす時間を作る」59.7%、「貯蓄」57.5%が続きました。

子どもの成長段階別にみると、幼児の母親では「悪いことをした時は、きちんと叱る」(88.2%)や「良いことをした時は、きちんと褒める」(84.3%)といったしつけに関する事柄が、小学生の母親では「子どもに家事などお手伝いをさせる」(54.3%)や「子どもに勉強の習慣がつくようにしている」(37.7%)、「塾など習い事に通わせる」(29.3%)といった手伝いや勉強に関する事柄が、それぞれ全体に比べ高くなりました。

他方、「栄養バランスのとれた食事を用意」(3 割強から 3 割半)や「子どもの手本となるように自分磨き」(1 割半)は、子どもの成長段階に関係なく、どの段階の母親も同じ割合で行っていることがわかりました。

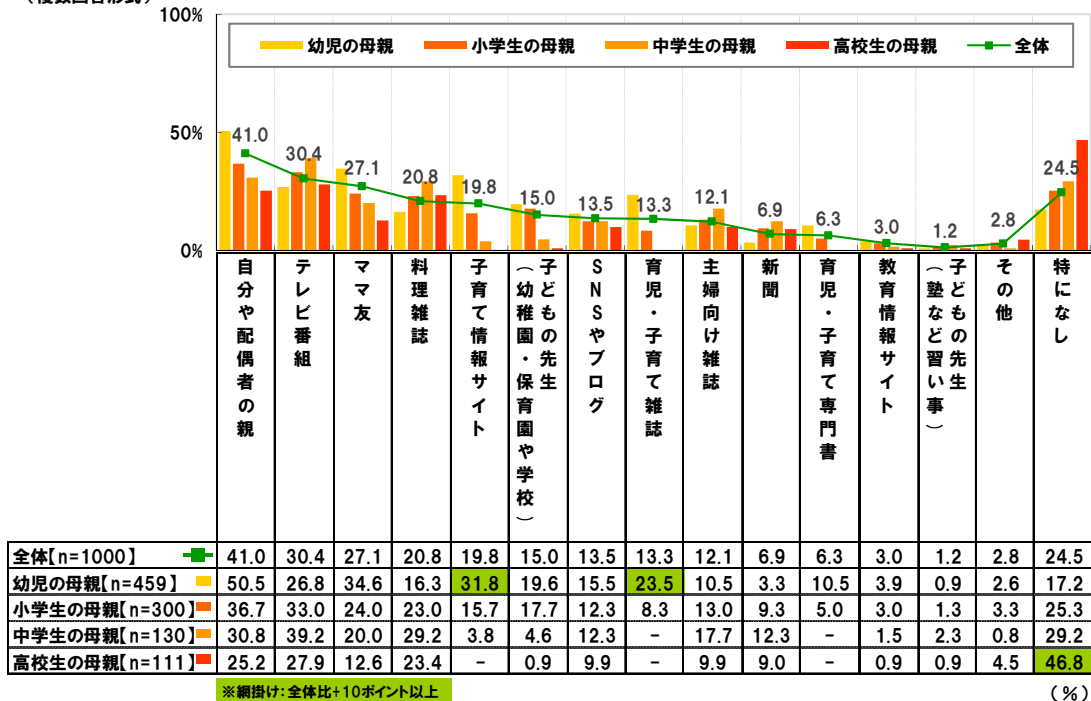
◆日頃の子どもの食事について、気になっていること
(複数回答形式)



◆日頃の子どもの食事について、気をつけていること
(複数回答形式)



◆子どもの食事に関する情報を何から得ているか
(複数回答形式)



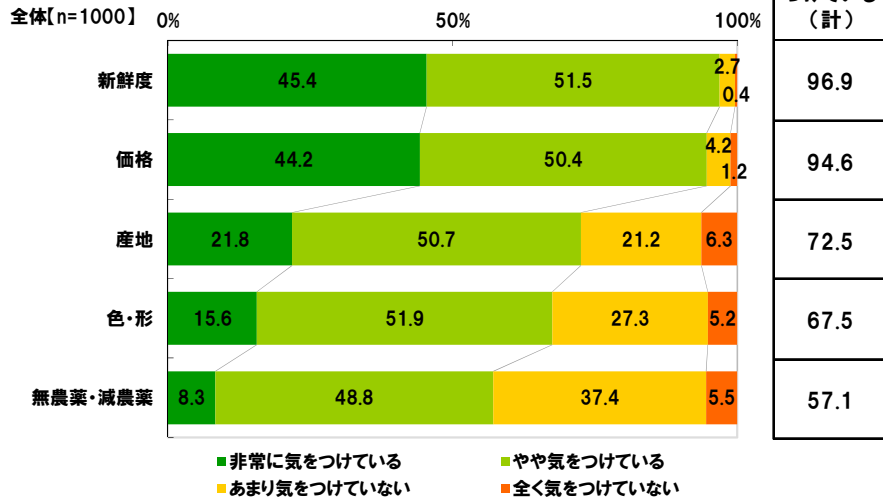
◆食材全般を選ぶ際にどのような気持ちになったことがあるか (複数回答形式)

◆野菜を選ぶ際にどのような気持ちになったことがあるか (複数回答形式)

全体[n=1000]

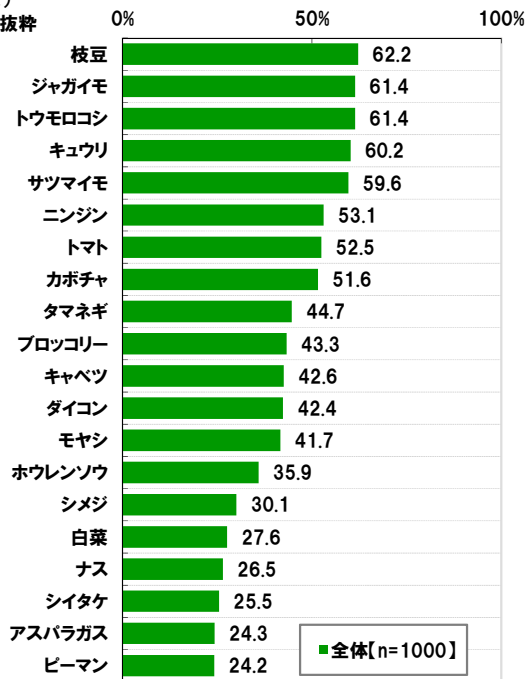
	食材全般を選ぶ際	%		野菜を選ぶ際	%	順位の変動
1位	美味しく食べてほしいな	77.2	1位	成長のためには必要だな	59.7	↑
2位	成長のためには必要だな	69.9	2位	美味しく食べてほしいな	59.3	↓
3位	これは(子どもが)好きだったな	63.6	3位	残さず食べてくれるかな	50.7	↑
4位	残さず食べてくれるかな	61.0	4位	美味しいものを作ってあげよう	43.4	↑
5位	美味しいものを作ってあげよう	60.3	5位	これは(子どもが)好きだったな	37.2	↓
6位	喜ぶだろうな	48.4	6位	食べさせても安全かな	34.9	↑
7位	食べさせても安全かな	42.0	7位	(子どもが)嫌いだけど頑張って食べて欲しいな	33.1	↑
8位	(子どもが)嫌いだけど頑張って食べて欲しいな	38.6	8位	喜ぶだろうな	24.0	↓
9位	早く食べさせてあげたいな	21.3	9位	早く食べさせてあげたいな	12.5	→
10位	これを食べて勉強を頑張ってほしいな	7.8	10位	これを食べて勉強を頑張ってほしいな	5.3	→

◆野菜を買う際にどれくらい気をつけて買っているか
(単一回答形式)



◆子どもが好きな野菜
(複数回答形式)

※上位20項目を抜粋



◆子どもが好きな野菜【子どもの成長段階別】

幼児[n=459]

1位	ニンジン	66.0
2位	サツマイモ	63.0
3位	トウモロコシ	59.3
4位	枝豆	58.8
5位	ジャガイモ	58.4
6位	カボチャ	57.3
7位	キュウリ	55.1
8位	トマト	52.5
9位	タマネギ	45.3
10位	ダイコン	41.4
(%)		

小学生[n=300]

1位	トウモロコシ	68.3
2位	枝豆	67.7
	キュウリ	
4位	ジャガイモ	65.7
5位	サツマイモ	61.7
6位	トマト	58.3
7位	ブロッコリー	50.3
8位	キャベツ	49.7
9位	カボチャ	49.0
10位	ニンジン	46.7
(%)		

中学生[n=130]

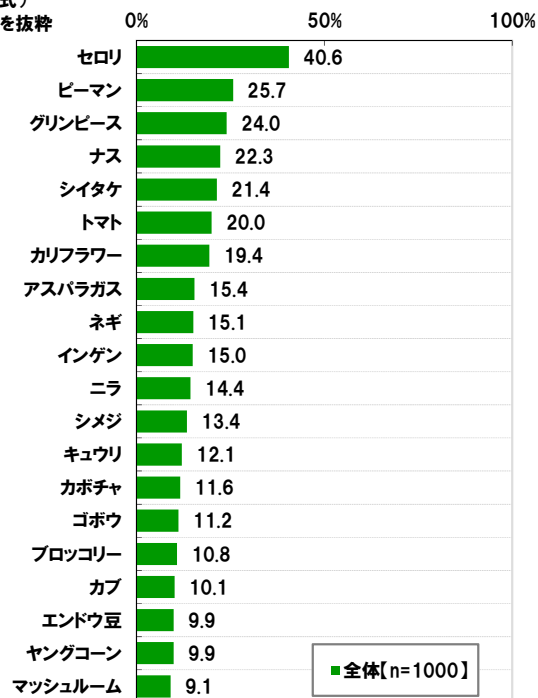
1位	枝豆	65.4
2位	ジャガイモ	62.3
3位	キュウリ	58.5
4位	トウモロコシ	56.9
5位	モヤシ	54.6
6位	サツマイモ	50.8
7位	キャベツ	46.2
8位	トマト	43.8
9位	ブロッコリー	43.1
	ダイコン	
(%)		

高校生[n=111]

1位	キュウリ	63.1
2位	ジャガイモ	61.3
3位	枝豆	57.7
	キャベツ	
5位	トウモロコシ	56.8
6位	サツマイモ	50.5
7位	カボチャ	47.7
	モヤシ	
9位	トマト	46.8
10位	ダイコン	45.0
(%)		

◆子どもが嫌いな野菜
(複数回答形式)

※上位20項目を抜粋



◆子どもが嫌いな野菜【子どもの成長段階別】

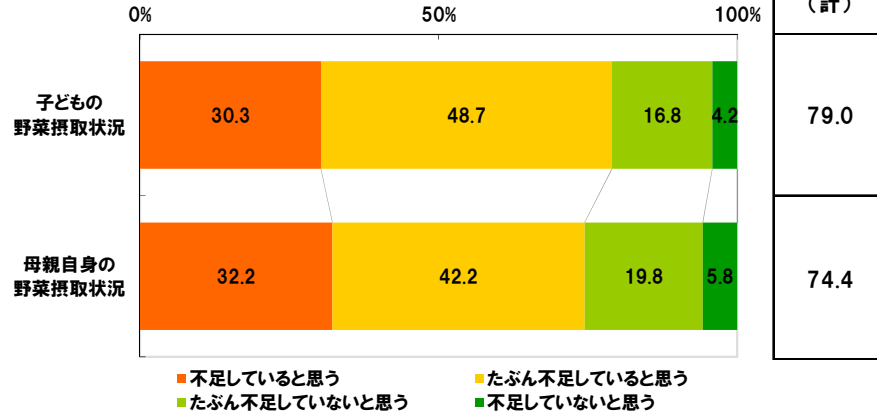
幼児[n=459]			小学生[n=300]			中学生[n=130]			高校生[n=111]		
1位	セロリ	32.2	1位	セロリ	48.0	1位	セロリ	46.9	1位	セロリ	47.7
2位	ピーマン	29.4	2位	ナス	30.0	2位	グリーンピース	26.9	2位	グリーンピース	25.2
3位	トマト	21.4	3位	シイタケ	28.3	3位	トマト	23.1	3位	シイタケ	24.3
4位	グリーンピース	20.3	4位	グリーンピース	28.0	4位	シイタケ	22.3	4位	カリフラワー	20.7
5位	ナス	18.5	5位	ピーマン	27.0	5位	ナス	21.5	5位	インゲン	19.8
6位	ネギ	17.2	6位	カリフラワー	23.3	6位	カリフラワー	20.8	6位	アスパラガス	18.9
7位	ニラ	16.8	7位	トマト	18.3	7位	ピーマン	16.2	7位	ピーマン	18.0
8位	キュウリ	16.6	8位	シメジ	17.7		ヤングコーン			ナス	
9位	カリフラワー	16.1	9位	アスパラガス	17.3	9位	インゲン	14.6	9位	トマト	15.3
10位	シイタケ	15.9	10位	インゲン	17.0	10位	ネギ	13.8	10位	ヤングコーン	12.6
(%)			(%)			(%)			(%)		

◆子どもが野菜を食べるように工夫していること
(複数回答形式)



◆子どもと母親自身の野菜摂取状況
(単一回答形式)

全体[n=1000]



◆自身と子どもの野菜摂取状況をもとに分類したグループ

※()内は、各グループが全体に占める割合(%)

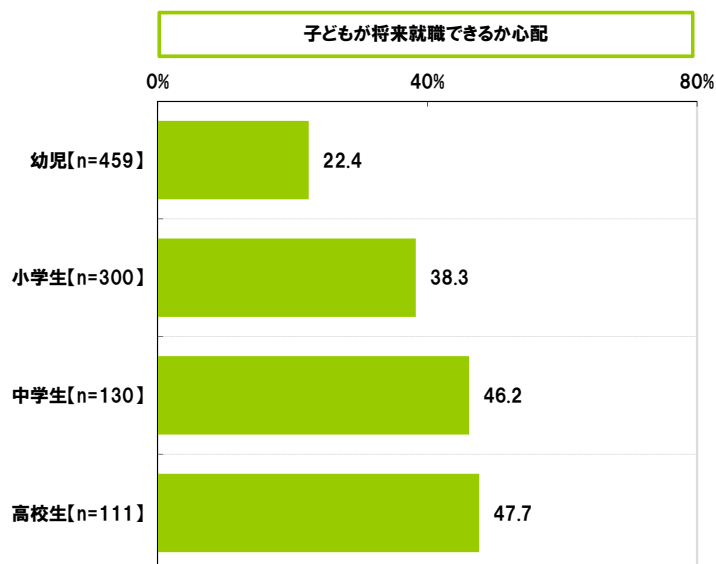
全体[n=1000]

		子どもの野菜摂取状況	
		不足していると思う(計)	不足していないと思う(計)
母親自身の野菜摂取状況	不足していると思う(計)	親子揃って不足しているグループ (68.8)	親だけが不足しているグループ (5.6)
	不足していないと思う(計)	子どもだけが不足しているグループ (10.2)	親子揃って充足しているグループ (15.4)

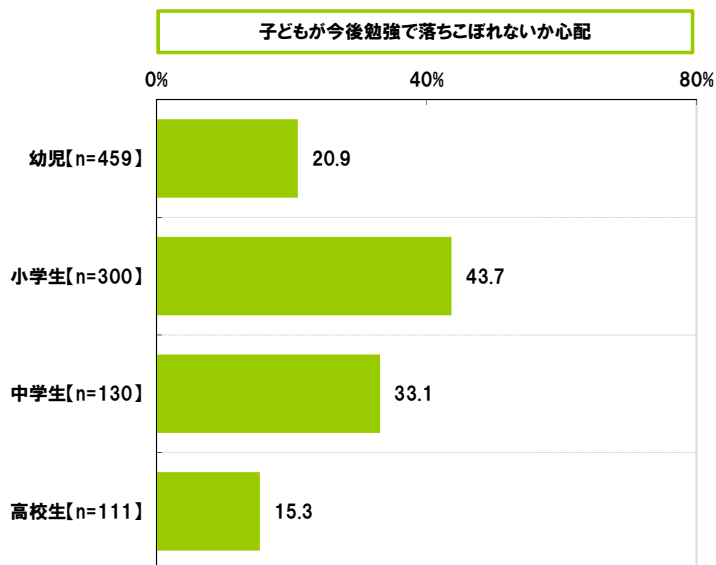
◆子どもに対する心配や子どもの将来についてもっている考えや気持ち
(複数回答形式)



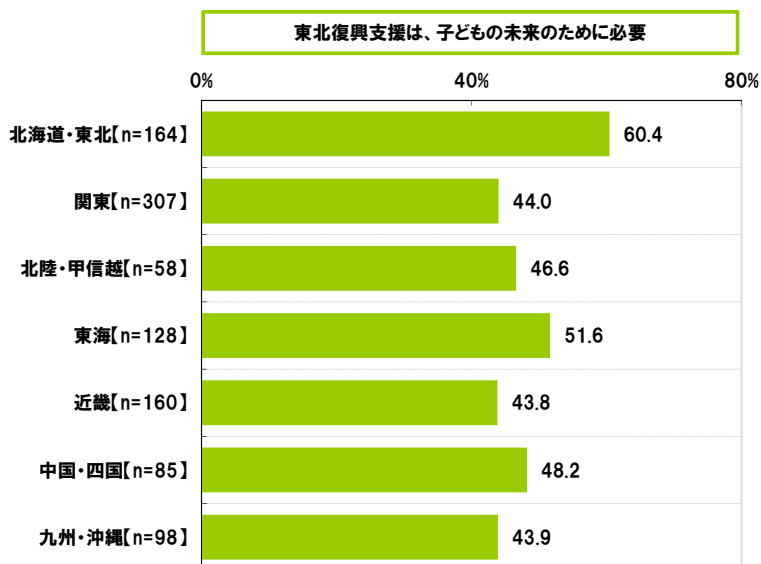
◆子どもに対する心配や子どもの将来についてもっている考えや気持ち
(複数回答形式)



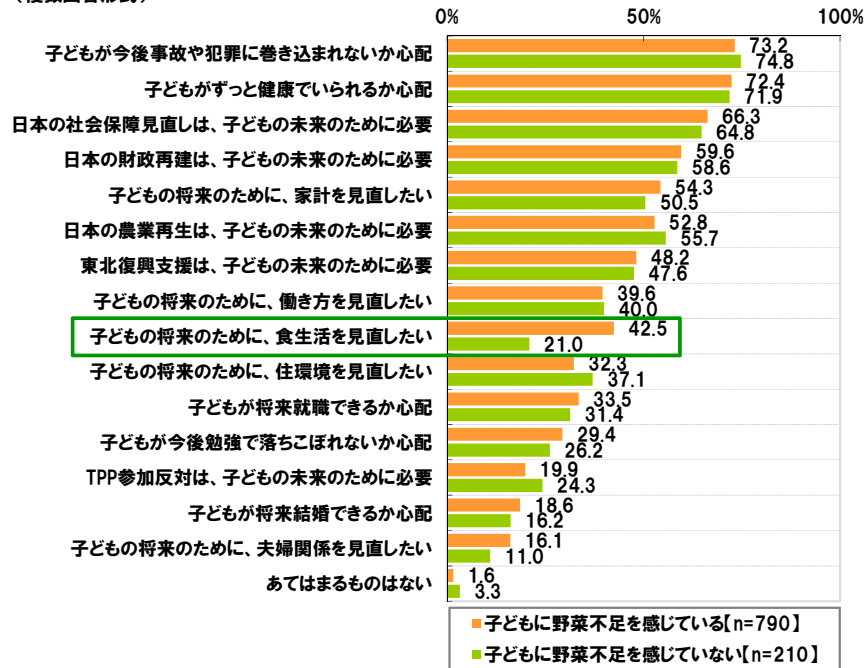
◆子どもに対する心配や子どもの将来についてもっている考えや気持ち
(複数回答形式)



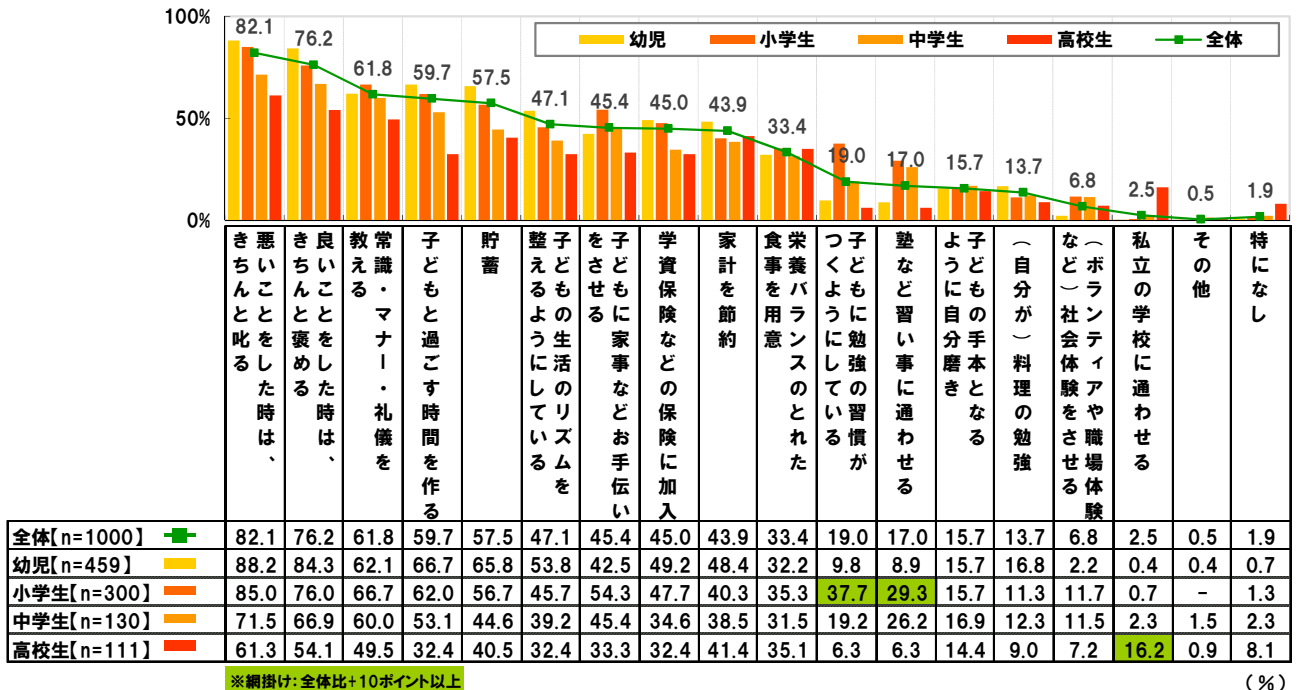
◆子どもに対する心配や子どもの将来についてもっている考えや気持ち
(複数回答形式)



◆子どもに対する心配や子どもの将来についてもっている考えや気持ち (複数回答形式)



◆子どもの未来の為にしていること (複数回答形式)



《調査概要》

- ◆調査タイトル：子どもの食と未来を考える調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする
20歳～49歳で幼児から高校生までの子どもの母親
- ◆調査期間：2013年7月26日～2013年7月29日
- ◆調査方法：インターネット調査（モバイルリサーチ）
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答から1,000サンプルを抽出）
（内訳）20代：333サンプル/30代：334サンプル/40代：333サンプル
- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社
調査協力会社：ネットエイジア株式会社（担当：吉田）

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「パルシステム生活協同組合連合会調べ」と付記のうえ
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

パルシステム生活協同組合連合会 事業広報部 商品企画課 担当：大野、石原

TEL :03-6233-7204

受付時間 :10時00分～17時30分(月～金)

■■パルシステム生活協同組合連合会 概要■■

組織名 :パルシステム生活協同組合連合会
 代表者名 :理事長 山本 伸司
 設立 :1990年2月
 所在地 :東京都新宿区大久保2丁目2-6 ラクアス東新宿
 業務内容 :会員生協の委託を受けた、商品・システム・基幹物流